

2026-2027シーズンを迎えて 会長挨拶

テレマークスキーを愛する皆様へ

日本テレマークスキー協会 会長の江戸原です。

平素よりTAJの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2026-2027シーズンも、どうぞよろしくお願いいたします。

2025-2026シーズンを振り返って

昨シーズンは公認校が1校増え、公認指導員には新たに3名が合格しました。

イベントでは、有志の皆様のご尽力により「テレマーカー増やそうプロジェクト」を実施しました。テレマークをより身近に感じていただくための企画で、かたしな高原での2日間の開催では122名の方にレッスン・体験をしていただきました。

「テレフェス in 夏油」は、出走者38名、パーティー参加者53名と大盛況でした。ベテランや高い技術をお持ちの方はもちろん、普段ゲレンデ滑走やコンテストにあまり参加されない方にも多数エントリーいただきました。若い世代の方や聴覚に障がいのある方も参加され、年齢や障がいの有無を超えた交流が生まれたことを大変嬉しく思っております。

テレマークスキーの文化を次世代へ

ギアの価格高騰、スキーを取り巻く環境の変化、スキー人口の減少など、テレマークスキー界はいま、決して楽観できない局面にあります。

それでも、ヒールフリーならではの解放感、雪山を自由に駆ける喜び、そして私たちが築いてきた温かいコミュニティは、次世代へ繋いでいかなければならない大切な文化です。発足以来、テレマーカー一人ひとりの情熱が会の原動力となり、テレマークスキーはスキー文化の一つとして根付いてまいりました。

今シーズンもともに

TAJの普及活動、講習会やイベントの開催、そしてテレマークスキーの魅力を発信する取り組みは、会員の皆様をはじめ、多くの方々のご支援に支えられています。

今シーズンも各地の雪山で、皆様とともに活気ある「踵上げ運動」を繰り広げていきたいと考えております。シーズンを通じて、変わらぬご支援とご参加を心よりお願い申し上げます。雪上でお会いできることを楽しみにしております。

日本テレマークスキー協会
会長 江戸原 大輔